



独立行政法人国立病院機構

小倉医療センター外来診療担当表

令和7年1月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	備考
内科一般（新患） 【内線 264】	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	新患担当は、内科系医師の交代制です。
肝臓内科 【内線 208】	佐藤 丈顕	佐藤 丈顕	佐藤 丈顕	國吉 政美	國吉 政美	
血液内科 【内線 208】	武藤 敏孝	高 月 浩	武藤 敏孝	高 月 浩		※血液内科について下記欄外参照ください。
糖尿病・内分泌代謝内科 【内線 264】	的場 ゆか 林 加野 山田 健太郎	今 蘭 直博 堤 田 夏生 阿 部 隼希	的場 ゆか 林 加野 堤 田 夏生	的場 ゆか 林 加野 阿 部 隼希	今 蘭 直博 山田 健太郎 阿 部 隼希	
呼吸器内科 【内線 208】	休 診					
循環器内科 【内線 202】		鈴木 哲	鈴木 哲		◆	新患：連携室へ事前相談(急患不可) ◆他院より派遣医師
消化器内科 【内線 205】	河 邊 顕	村 尾 寛之 林 康 代	河 邊 顕 林 康 代	村 尾 寛之 林 康 代	河 邊 顕 村 尾 寛之	脾疾患は河邊医師が担当。
消化器・一般外科 【内線 205】	鈴木 宏往	田 辺 嘉高 山 田 裕	田 辺 嘉高	堤 宏 介	田 邊 麗子	
乳腺外科 【内線 205】	堤 宏 介	轟 木 秀一 山 田 裕	◇予約のみ	轟 木 秀一	轟 木 秀一	◇印 予約のみ
整形外科	深 川 真吾 長谷川 晃大 安 部 健吾	今 井 稜	深 川 真吾 長谷川 晃大 今 井 稜	長谷川 晃大	深 川 真吾 今 井 稜 安 部 健吾	
小児科（午前） 【内線 209】	◇※牧村 美佳 安永 由紀恵 米 良 智子 中 嶋 敏紀	△安成 大輔 安永 由紀恵 中 尾 泰介 ☆渡辺 恭子 中 嶋 敏紀 ☆緒方 怜奈	◇牧村 美佳 松 永 千恵 河 原 典子 ◎大野 拓郎 ●安永 由紀恵 ◇九大より派遣 (第2・4週)	河 原 典子 中 尾 模吾 米 良 智子 ☆※緒方 怜奈 中 尾 泰介	◎大野 拓郎 河 原 典子 牧 村 美佳 ◎古賀 大貴 ☆渡辺 恭子 ☆緒方 怜奈 ☆安永 由紀恵	◎循環器外来（予約制） △アレルギー外来（予約制） ☆神経外来（予約制） ◇内分泌外来（予約制） □新生児外来（予約制） ※初診のみ ●予約制 専門外来新患は要電話予約 (9:00-14:30電話受付) 詳しくは病院ホームページ
小児科（午後） 【内線 209】	1か月健診：松永 中 尾 模吾 中 嶋 敏紀 ◎※古賀 大貴 山 喜多 悠一	※△安成 大輔 中 嶋 敏紀 榎崎 健太郎 ☆渡辺 恭子 ☆緒方 怜奈	◇牧村 美佳 倉 田 浩昭 湯 浅 千春 ◎大野 拓郎 ☆九大より派遣 (第3週)	1か月健診：平野 田 中 幸一 川 上 勲 ☆緒方 怜奈	△米良 智子 倉 田 浩昭 湯 浅 千春 ◎古賀 大貴 ☆渡辺 恭子 ☆緒方 怜奈 ☆安永 由紀恵	
小児外科 【内線 209】	【手術日】 (急患のみ可)	生 野 猛 ＊生野 久美子 中 村 晶俊 橋 本 佳子	【手術日】 (急患のみ可)	◎生 野 猛 生 野 久美子 ＊橋 本 佳子	＊生 野 猛 生 野 久美子 中 村 晶俊 橋 本 佳子	◎小児泌尿器外来 ＊印 新患担当 急患は随時対応
産科・婦人科 【内線 204】	宮 原 英之 河 村 京子 ＊川上 浩介 竹 内 一輝 北 川 麻里江 藤 川 梨恵 石 橋 弘樹	光 山 丈彦 ＊川越 秀洋 近 藤 恵美 牟 田 満 吉 里 俊幸 牛 島 崇 【手術日】	田 邊 優介 河 村 京子 ＊川上 浩介 森 岡 将来 徳 田 諭道 牛 島 崇 石 橋 弘樹	熊 谷 晴介 ＊川越 秀洋 光 山 丈彦 牟 田 満 近 藤 恵美 森 岡 将来 藤 川 梨恵	徳 田 諭道 竹 内 一輝 ＊川上 浩介 田 邊 美紀 北 川 麻里江 宮 原 英之 【手術日】	＊印 新患担当 新患は紹介患者様のみ
泌尿器科 【内線 213】	◆	【休診】	【休診】	◆	◆	◆他院より派遣医師
皮膚科 【内線 8080】	土 井 和子 古 森 環	土 井 和子 古 森 環	土 井 和子 古 森 環	土 井 和子 古 森 環	土 井 和子 古 森 環	
眼科 【内線 212】	能 美 典正 海 津 嘉弘 浅 原 裕樹	海 津 嘉弘 浅 原 裕樹 【手術日】	宮 城 美智子 海 津 嘉弘 浅 原 裕樹	能 美 典正 熊野・海津(奇数週) 下川・浅原(偶数週) 【手術日】	能 美 典正 海 津 嘉弘 浅 原 裕樹	新患：連携室へ事前予約 急患は事前相談を 火・木は10:00で受付終了
精神科	＊磯村 周一 今 村 眞帆 知 識 裕喜 朝 枝 翼	＊権藤 知子 今 村 眞帆 知 識 裕喜 鮫 島 健輔	＊知 識 裕喜 磯 村 周一 今 村 眞帆 権 藤 知子	磯 村 周一 今 村 眞帆 権 藤 知子	＊鮫 島 健輔 磯 村 周一 今 村 眞帆 権 藤 知子 ＊重 光 紗文	＊印 新患担当 新患は要電話予約 (9:00~14:30電話受付)
放射線科 【内線 231】	野 見 山 弘行	野 見 山 弘行 脇 山 浩明(午後)	野 見 山 弘行	野 見 山 弘行	野 見 山 弘行 高 木 正統(午前)	
耳鼻咽喉科 【内線 8320】	【休診】	◆	【休診】	【休診】	◆	◆九大より派遣医師
消化管内視鏡 【内線 379】	村 尾 寛之 林 康 代	河 邊 顕 國 吉 政美	村 尾 寛之	河 邊 顕	林 康 代	

注)：受付時間：午前8：30～11：00（急患については、この限りではありません）

注)：不在の場合は担当医が変更になることがあります。

注)：詳しくは、病院ホームページをご覧ください。

注)：血液内科診療につきまして、診療体制の都合上、新規の紹介患者様の受け入れに、ご迷惑をおかけする場合があります。

◆国立病院機構小倉医療センター◆

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘10-1

TEL093-921-8881/FAX093-921-8892（地域医療連携室）

※休診のお知らせ (12/17現在)
なし

※医師不在のお知らせ (12/17現在)

精神科： 朝枝・・・1/7、1/14、1/21、1/28
重光・・・1/8、1/15、1/22、1/29
鮫島・・・1/6、1/20、1/27
産婦人科： 田邊(優)・1/6、1/7
森岡・・・1/6、1/7
藤川・・・1/7、1/8
宮原・・・1/8
田邊(美)・1/6
牛島・・・1/6
眼科： 能美・・・1/30、1/31
小児科： 大野・・・1/17



— 医療従事者研修について —

開催日	研 修 名
1月16日(木) 時間 19:00～	第3回KOKURA産婦人科フォーラム(ハイブリッド開催)
1月28日(木) 時間 19:00～	小倉小児科医会臨床懇話会(Web講習会)

— 健康教室について —

「糖尿病健康教室」「産婦人科教室」の開催予定はございません



国立病院機構 小倉医療センター 〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘10-1
【診療科】 糖尿病・内分泌代謝内科、血液内科、肝臓内科、消化器内科、循環器内科、
整形外科、外科一般・消化器外科、乳腺外科、小児外科、小児科、産婦人科、
皮膚科、眼科、精神科、放射線科、臨床検査科、麻酔科
◆ご紹介・研修に関してのお問い合わせは、地域医療連携室をご利用下さい
(病院代表) FAX 093-922-5072 TEL 093-921-8881
(地域医療連携室) FAX 093-921-8892 TEL 093-921-8887(紹介患者専用ダイヤル)

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

小倉医療センター院長の山下でございます。先生方には日頃より多大なるご支援をいただき、大変感謝を申し上げます。

さて、当院では巳年の今年に重大案件として、産婦人科病棟と新生児病棟の改築を予定しております。

産婦人科病棟の改築では、妊婦さんがより安全にお産ができるように、ハイリスク妊婦を集中して管理するためのMFICU6床を新設いたします。新生児病棟の改築では、新生児入院数の増加により満床を超えることが常態化しつつあることや、新生児室が手狭となり家族の面会時間や回数、退院指導時間の確保などに支障をきたしてきたことなどの問題解決のために、新生児室を大幅に拡張・増床する予定です。改築後はNICUの病床数が現在の12床から15床に、新生児専用の病床数としても計30床から計42床へ増床されます。これらの改築により、当院の主たる診療機能の一つである周産期医療をさらに充実させていく所存でございます。

国立病院機構では、財政悪化のために病院の新規建て替えはもちろん、改築ですら承認を受けることが困難な状況です。その中で、これらの病棟改築のための予算を確保できたのは、国の将来構想に沿うものでありますが、ひとえに地域の先生方との連携や信頼によるものでございます。

少子化により地方ではさらに人口減となり、厳しい時代になります。若い方たちが安心して出産、子育てできる環境を医療の面から支えることは、北九州市の人口増を目指すうえで大変重要なことです。医師の働き方改革、地域医療構想などの時代変化に合わせ、組織を改革していくことが求められています。我々は、5年後10年後を見据えた地域医療の維持、ひいては都市機能の維持を目標に幅広い視野を持つ医療機関として、今後も地域に貢献してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いします。



病院長 山下 博徳

診療科紹介

眼科

能美 典正、海津 嘉弘、浅原 裕樹

当科は九州大学眼科の関連病院として常勤医3名と外来応援医師で診療を行っています。常勤医は今年度4月から赴任した浅原医師、10月から赴任した海津医師、科長の能美の3名となっております。毎年医師の入れ替えはありますが診療内容はかわらず継続しております。よろしくお願い致します。

白内障や網膜硝子体疾患、緑内障などの手術を必要とする疾患から、角膜潰瘍や視神経炎、原田病などの入院加療を必要とする疾患まで幅広く対応しています。手術症例は基本的には入院での手術とさせて頂いておりますが、患者のご希望があれば各種手術とも日帰りでも対応しています。糖尿病黄斑浮腫や網膜静脈閉塞症、加齢黄斑変性に対する抗VEGF療法も行っています。

いつも症例のご紹介を頂きありがとうございます。新患の受付も地域連携室を通しての予約制させて頂いております。いまのところ予約枠には余裕がございますが、早めの診察日をご希望の場合はお問い合わせください。緊急手術や入院が必要な症例につきましても可能な限り対応させて頂きますが、学会等で術者が不在となる場合もございます。患者さんへ受診を指示する前にご連絡をよろしくお願い致します。受付が時間内であれば予約なしでも診察は可能です。

令和5年度の手術件数は814件(白内障手術460件、硝子体手術224件、緑内障手術49件、網膜復位術4件、眼瞼下垂・内反22件、眼瞼腫瘍18件、その他)、そのうち全身麻酔での手術は92件でした。1年を通してそれほど手術予定件数は混んでおらず、白内障手術の待ち期間は数週間です。全身麻酔症例や眼瞼・腫瘍の手術では待ち期間がかかることもあります。

令和6年度の上半期の手術件数は406件でした。今年度は緑内障手術の新たなデバイスとしてプリザーフロマイクロシャントを導入しております。低侵襲な濾過手術として期待されておりますので適応がありそうな方がおられましたらご紹介を検討頂ければ幸いです。また難治性緑内障に対してはアーメド緑内障バルブを用いた緑内障手術も可能です。

ご紹介いただきました患者さまは、治療後、安定しましたら早期にご紹介元の眼科様での経過観察をお願いするようにしております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

